

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成29年5月発行

第139号

発行所

公益社団法人 和歌山県看護協会

〒642-0017

海南市南赤坂1-7

TEL:073-483-1005

FAX:073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

発行人

古川 紀子



「貴志川線 おもちゃ電車」 写真提供 国保野上厚生総合病院 東原 弘明

CONTENTS

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| • 通常総会開催に向けて …………… 2 | 常任委員会報告 …………… 10 |
| • 認定看護師フォローアップ研修を終了して …… 2 | 特別委員会報告 …………… 13 |
| • 退職にあたり …………… 2 | その他委員会報告 …………… 14 |
| • 平成29年度 通常総会プログラム | 地区支部報告 …………… 15 |
| 理事会報告 …………… 3 | 平成29年度和歌山県看護協会役員 …… |
| 平成29年度重点事業 …………… 5 | 推薦委員選挙候補者一覧 …………… 19 |
| 平成29年度収支予算書 …………… 6 | 平成30年度 代議員推薦者名簿 …… 20 |
| 正味財産計算予算書内訳表 …………… 7 | 平成30年度 予備代議員推薦者名簿 …… 20 |
| 職能委員会報告 …………… 8 | |

和歌山県看護協会 会員数

平成29年4月25日現在

会員総数	4,670名
名誉会員	1名
保健師	112名
助産師	176名
看護師	4,224名
准看護師	157名

平成 29 年度和歌山県看護協会通常総会開催に向けて

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 古川 紀子



新年度となり、各職場では新人看護職員を迎えられ、ご多忙の中にも活気ある日々をお過ごしのことと存じます。

平素より看護協会事業に対し、ご支援とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

和歌山県看護協会は公益社団法人として6年目を迎え、「県民の健康な生活の実現」に向けて更なる事業の充実が求められています。

和歌山県では、急激な少子高齢社会に対応するために、「和歌山県地域医療構想」が策定されました。県民のすべての願いである、健やかに生まれ・育ち、住み慣れた地域でその人らしくいきいきと安心して生活できるために、在宅医療を含めた地域包括ケア体制の構築が進められています。

このような状況の中、看護職能団体である和歌山県看護協会は、社会の変革と共に重要性を増す看護の役割を認識し、行政はじめ関係団体との連携を密に取り組みでまいります。

今年度も、「看護の質向上」、「看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくり」、「人々のニーズに応える看護領域の開発・展開」を使命として、6つの重点事業を中心に時代のニーズに基づいた事業計画を策定いたしました。

「看護実践能力及び専門性の強化」については、新人教育、ジェネラリストを育成する教育、管理者を育成する教育、認定看護管理者教育、教育者・研究者を育成する教育等を実施し、看護職が十分に看護力を発揮できるように看護の質向上に努めてまいります。

地域包括ケアシステムの構築が進み、「病院完結型」から「地域完結型」へ転換が図られています。そのような状況の中、県受託事業として訪問看護入門研修、保健師研修を新

たに実施し、これまで以上に身近で頼りになる存在として、質が高く、満足できる看護を「いつでも・どこでも」提供できるよう推進してまいります。

「看護職が働き続けられる環境づくり」については、看護職のWLB推進ワークショップ事業を継続的に取り組み、労働環境改善に繋げてまいります。

一昨年10月から実施している、医療機関等を離職する看護職のナースセンターへの届け出制度の更なる推進を図ってまいります。また、潜在看護職員復職支援研修、ハローワークと連携した仕事相談、ナースセンターでの採血の技術演習を実施するなど、ナースセンターを看護職確保・定着の総合拠点として、行政や労働局、ハローワーク等と連携しながら機能強化を図ってまいります。

さらに、認定看護管理者会の活動として、看護管理者による各病院への「出前研修講座」を8コース実施いたします。

各職能の実践能力向上と体制整備に向けては、保健師の専門性及びネットワーク強化を図り、保健師の資質向上と連携強化、また、「助産師クリニカルラダー・レベルⅢ認証制度」を積極的に活用し、助産実践能力強化に努めてまいります。

加えて広報活動強化の観点から、「和歌山県看護協会ガイド」を作成いたしました。また、ホームページの更なる充実を図り、看護職や県民の方々への情報をタイムリーに発信して参りたいと考えております。

平成29年度も役員、各地区支部、各委員会をはじめ、各関係機関、行政、会員の皆様と共に、安全で良質な看護の提供と、看護職がいきいきと働き続けられる職場づくりを目指して、積極的に活動してまいりますので、引き続き協会運営にご支援・ご協力の程、宜しく申し上げます。



認定看護師フォローアップ研修を終了して

日本赤十字社和歌山医療センター 芝田 里花

今年度は、「平成27年度 和歌山県看護協会認定看護師教育課程」を修了し、認定試験に合格した救急看護認定看護師への活動サポートを目的に、平成29年2月25日に認定看護師フォローアップ研修を和歌山県看護協会看護研修センターで行いました。

参加者は救急看護認定看護師19人、研修内容は新たに資格を取得した救急看護認定看護師14人の実践報告を中心に行いました。それぞれ所属する施設のなかの認定看護師としての今後の活動や組織の中で、どうコンセ

ンサスを得ていくかの悩みもあり、実践を積み重ねている救急看護認定看護師からの助言等を受け、今後の活動への示唆を得ることができたと考えます。

認定看護師フォローアップ委員会は、平成29年度から全分野を対象としていきます。

認定看護師の活動は資格を取得すれば、すぐに自律的な活動は困難なことが多いため、周囲のバックアップが不可欠です。組織、地域で認定看護師の育成にご協力をお願い致します。



退職にあたり

辻岡 健志

本年3月末日をもちまして看護協会を退職することになりました。平成23年4月から6年間、事務長としてお世話になり有難うございました。振り返れば、公益法人への移行や、新看護研修センター建設移転など節目の時期にありまし

た、新研修センター建設では、役員や建設委員のみならずと幾度か貸切バスで候補地を見て廻ったことなど思い出に残っています。職場では、唯一の男性職員として毎日、緊張した日々を過ごさせていただきました。皆様方には本当に有難うございました。

平成 29 年度 和歌山県看護協会

● 日 程：平成 29 年 6 月 10 日（土）

12：20	開 場
12：50	オリエンテーション
13：00	開 会 物故会員への黙祷 会長挨拶 来賓祝辞 祝電披露 和歌山県看護協会会長表彰 (休 憩)
13：50	議長団選出 議事録署名人選出 平成 28 年度総会議事録朗読
14：00	報告事項 日本看護協会代議員報告 理事会報告

通常総会プログラム

● 場 所：県民文化会館 小ホール

職能委員会報告
常任委員会・特別委員会報告
地区支部報告
平成 28 年度事業報告
平成 29 年度重点事業並びに事業計画
平成 29 年度収支予算
議決事項 (第一号議案～第二号議案)
新役員紹介
旧役員への謝辞
旧役員代表者挨拶
看護協会歌合唱
16：30 閉 会

*進行上の都合により、時間に変更となる場合があります。

- 第一号議案** 平成 29 年度役員および推薦委員並びに
平成 30 年度公益社団法人日本看護協会代議員および
予備代議員の選出について
- 第二号議案** 平成 28 年度決算報告並びに監査報告（案）

報 告 事 項

理 事 会 報 告

I 理事会等開催状況

1. 理事会

回	開 催 日	時 間	出 席 者	
			理事	監事
1	平成 28 年 4 月 27 日（水）	13：00～15：50	17	2
2	平成 28 年 5 月 30 日（月）	13：00～14：00	17	2
3	平成 28 年 6 月 22 日（水）	13：00～14：05	17	2
4	平成 28 年 8 月 17 日（水）	13：00～14：30	17	2
5	平成 28 年 12 月 7 日（水）	13：00～16：00	17	2
6	平成 29 年 3 月 15 日（水）	13：00～16：30	18	2

2. 理事・各委員長・地区支部長合同開催状況

回	開 催 日	時 間	出 席 者		
			理事	監事	委員長
1	平成 28 年 5 月 30 日（月）	14：30～16：20	18	2	10
2	平成 28 年 6 月 22 日（水）	15：00～17：00	18	2	10

3. 代議員研修会開催状況

回	開 催 日	出 席 者			
		代議員	6	予備代議員	2
1	平成 28 年 5 月 20 日（金）	代議員	6	予備代議員	2

II 理事会開催

第 1 回理事会 平成 28 年 4 月 27 日（水）

【協議事項】

- 平成 28 年度教育計画概要（案）
- 平成 27 年度事業実施報告（案）について
- 平成 28 年度改正役員等の推薦について
- 平成 28 年度日本看護協会代議員および予備代議員（案）について
- 平成 28 年度公益社団法人和歌山県看護協会会長表彰について
- 定款及び定款細則の変更について
- 会費規程の変更について
- 旧和歌山県看護研修センター（西浜）の売却について
- 地区支部予算執行と交通費等について
- 和歌山県看護協会旗、のぼりの作成について

以上 承認

【報告事項】

- 日本看護協会理事会・職能委員長会議報告
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他

第2回理事会 平成28年5月30日(月)

【協議事項】

1. 平成27年度決算報告について

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 県内関連団体会議参加報告
3. 看護研修センターについて
4. 会員数について
5. その他

第3回理事会 平成28年6月22日(水)

【協議事項】

1. 会長・役員を選任について
2. 常任・特別委員会について
3. 常任・特別委員会の諮問事項について
4. 円滑な事業運営(理事会等の年間計画について)
5. 和歌山県ナース章について
6. その他

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 県内関連団体会議参加報告
3. 会員数について

第4回理事会 平成27年8月17日(水)

【協議事項】

1. 施設会員代表者会について
2. ナース章の推薦について

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 各職能委員長会議報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 会員数について
5. その他

第5回理事会 平成28年12月7日(水)

【協議事項】

1. 看護協会長表彰について

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 地区別法人会員の報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 担当理事報告
5. 会員数について
6. その他

第6回理事会 平成29年3月15日(水)

【協議事項】

1. 看護協会長表彰について
2. 平成29年度重点事業概要(案)、平成29年度事業計画(案)について
3. 平成29年度教育計画概要(案)について
4. 平成29年度収支予算(案)及び資金調達、設備投資の見込み(案)について
5. その他

以上 承認

【報告事項】

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会・県内関連団体会議参加報告
3. 担当理事報告
4. 会員数について

お知らせ

平成29年4月より、
和歌山県看護協会ホームページの
モバイル版ができました。



平成 29 年度重点事業

和歌山県では、急激な少子高齢社会に向け、「和歌山県地域医療構想」が策定されました。すべての県民に安心・安全な医療の提供、また、住み慣れた地域でその人らしくいきいきと安心して生活できるために、在宅医療を含めた地域包括ケア体制の構築が進められております。このような状況の中、看護職はどの領域においても役割発揮が求められており、大きな期待が寄せられています。

和歌山県看護協会は、平成 24 年度より公益社団法人となり今年で 6 年目を迎えました。定款 4 条にそって、本協会の理念である「県民の健康な生活の実現」を目指して①看護の質の向上、②看護職がいきいきと働き続けられる環境づくり、③看護領域の開発・展開を使命に掲げています。

今年度も、公益社団法人として、県民の期待に応えられる看護の実現をめざして、使命・活動理念を軸として、次の 6 項目を重点事業として掲げ、活動を展開して参ります。

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる環境づくりと確保定着の推進
3. 県民の健康な生活の実現の推進
4. 地域包括ケアシステムの構築と推進
5. 保健師活動の体制整備と機能強化
6. 助産実践能力強化とその体制整備

重点事業

1. 看護実践能力及び専門性の強化

看護職は、生涯にわたり自己の能力開発に努め、看護の質の向上を図ることが責務です。

看護専門職能団体としての役割として、生涯教育を支援し、看護の質の向上を図ることは、協会事業の柱でもあります。

今年度も、看護職一人ひとりが自己研鑽して看護の力を発揮できるよう、教育計画に基づいて新人看護職員研修をはじめ、看護職のキャリア開発支援を推進し、看護実践能力の強化に努めます。

2. 働き続けられる環境づくりと確保定着の推進

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向け、看護を取り巻く環境も「治す医療」から「生活を支える医療」へと大きな転換期にあり、人材確保は喫緊の課題です。

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の一部改正により、一昨年 10 月から、看護職が離職等の際に都道府県ナースセンターに届出ることを努力義務とする制度が開始されました。また、身近な場所で、離職者の届出の促進と就労相談を、ハローワークと連携し「ナースのお仕事相談」を月 4 回開催し、ナースセンターを看護職の確保・定着の総合拠点としての役割を図って参ります。

職場づくり、人づくり、ネットワークづくりに向けて、行政、労働局、ハローワーク等、各関係団体と連携して、ナースセンター事業を強化し、働き続けられる環境づくりと確保・定着の推進に努めます。

また、ワーク・ライフ・バランス推進事業も積極的に推進して参ります。

3. 県民の健康な生活の実現の推進

看護研修センターを拠点に「県民の健康な生活」の実現に向けて、看護週間や老人月間、「まちの保健室」等を開催し、県民の健康増進に努めています。

今年度も、行政や関連団体と連携しながら事業を推進してまいります。

同時に、和歌山県看護協会への理解を深めて頂くために、様々な機会を捉えて情報発信に努め、県民の健康な生活の実現を推進して参ります。

4. 地域包括ケアシステムの構築と推進

少子高齢多死社会の到来に伴い、要介護高齢者や認知症の増加等により、介護・福祉施設や在宅療養の場における看護職への期待は拡大の一途を辿っています。

和歌山県は高齢化も全国を上回る速さで進行し、平成 28 年 1 月現在全国第 7 位で超高齢社会を迎えています。

看護協会では、在宅領域のネットワークづくりや、人材の確保・育成及び看護の質向上に向けて「看護の出前研修」「訪問看護入門プログラム」、「中堅期保健師コンサルテーション事業」を実施して参ります。

今年度も看護師職能委員会 I、II、和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会、行政及び関係機関等と連携しながら在宅看護、介護施設の看護の機能を強化し、療養を支える訪問看護・介護領域における看護の質の向上並びに人材確保に努めて参ります。

5. 保健師活動の体制整備と機能強化

保健師は個人及び地域全体の健康増進や疾病予防を図るため、平成 25 年 4 月に示された保健師活動指針に基づき保健活動を推進していく役割があります。

また、生活習慣病予防や身体維持の機能向上をはかり健康寿命を延ばしていく取り組みなど、地域包括ケアの実現に向けての取り組みが重要になります。

保健師職能委員会では、これらを実現していくために、保健師の専門性の強化、ネットワークづくり、保健師職能の組織力アップを目指して保健師の連携強化と課題解決、保健師活動指針の普及に取り組んできました。

今年度においても、職能集会、保健指導ミーティング、保健師交流会等を継続し、保健師の資質向上と連携強化に努めて参ります。

6. 助産実践能力強化とその体制整備

助産師活動については、「院内助産システム」「助産外来」が全国的な広がりを見せている一方で、少子化や産科医不足も相まって、分娩施設の減少が続き、産科混合病棟を余儀なくされています。そのため、助産実践が積み重ねられる場が少なくなると共に、助産師の不足や偏在化が問題となっています。助産師による、安全・安心な出産環境提供体制を推進するために、「助産師クリニックラダー・レベルⅢ認証制度」を積極的に活用し助産実践能力強化に努めて参ります。

また、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援」として虐待予防、産後ケア等の対応強化に必要な助産実践能力としてのウイメンズヘルスケア能力の周知に努めて参ります。

平成 29 年度 収支予算書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	5,000	10,000	△ 5,000
特定資産受取利息	5,000	10,000	△ 5,000
受取会費	55,000,000	55,000,000	0
受取会費	55,000,000	55,000,000	0
受取建設資金負担金	8,000,000	8,000,000	0
受取建設資金負担金	8,000,000	8,000,000	0
受取入会金	4,000,000	4,000,000	0
受取新入会金	4,000,000	4,000,000	0
事業収益	52,376,000	57,375,000	△ 4,999,000
受取受講料	26,000,000	26,000,000	0
受取会館賃貸料	30,000	50,000	△ 20,000
受取福祉年金事務費	180,000	250,000	△ 70,000
受取手数料	300,000	300,000	0
受取補助金等	7,950,000	8,800,000	△ 850,000
日本看護協会助成金	7,900,000	7,900,000	0
自殺対策事業受取補助金	0	850,000	△ 850,000
団体受取助成金	50,000	50,000	0
受取受託金	17,916,000	21,975,000	△ 4,059,000
日本看護協会受取業務委託金	910,000	910,000	0
和歌山県受取委託費	17,006,000	21,065,000	△ 4,059,000
受取寄付金	700,000	700,000	0
受取寄付金	700,000	700,000	0
雑収入	62,000	62,000	0
受取利息	2,000	2,000	0
その他雑収入	60,000	60,000	0
経常収益計	120,143,000	125,147,000	△ 5,004,000
(2) 経常費用			
事業費	85,766,000	85,414,000	352,000
役員報酬	6,700,000	6,120,000	580,000
給料手当	13,290,000	14,210,000	△ 920,000
賞与	6,590,000	6,930,000	△ 340,000
臨時雇賃金	8,350,000	2,820,000	5,530,000
退職給与引当費	826,000	1,024,000	△ 198,000
法定福利費	4,000,000	4,000,000	0
福利厚生費	150,000	150,000	0
報償費	150,000	150,000	0
会議費	500,000	500,000	0
広報啓発費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
旅費交通費	11,000,000	11,000,000	0
通信運搬費	2,000,000	1,800,000	200,000
減価償却費	2,500,000	2,800,000	△ 300,000
消耗什器備品費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
消耗品費	4,500,000	5,000,000	△ 500,000
修繕費	250,000	250,000	0
光熱水費	2,340,000	2,340,000	0
印刷製本費	4,500,000	4,500,000	0
図書整備費	600,000	600,000	0
賃借料	1,300,000	1,300,000	0
調査研究費	10,000	10,000	0
保険料	250,000	250,000	0
委託費	1,500,000	1,500,000	0

科 目	当年度	前年度	増 減
諸謝金	12,000,000	14,000,000	△ 2,000,000
租税公課費	50,000	50,000	0
情報処理費	200,000	400,000	△ 200,000
支払手数料	150,000	150,000	0
雑支出	60,000	60,000	0
管理費	34,057,000	32,843,000	1,214,000
役員報酬	5,260,000	4,880,000	380,000
給料手当	4,670,000	5,810,000	△ 1,140,000
賞与	3,050,000	3,420,000	△ 370,000
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付引当費	337,000	303,000	34,000
法定福利費	1,800,000	1,700,000	100,000
福利厚生費	150,000	150,000	0
渉外費	150,000	100,000	50,000
会議費	200,000	200,000	0
広告宣伝費	250,000	250,000	0
旅費交通費	1,000,000	1,000,000	0
通信運搬費	600,000	600,000	0
減価償却費	2,500,000	1,200,000	1,300,000
消耗什器備品費	500,000	500,000	0
消耗品費	1,200,000	1,200,000	0
修繕費	1,500,000	1,500,000	0
印刷製本費	1,800,000	1,800,000	0
光熱水費	660,000	660,000	0
賃借料	200,000	200,000	0
会館委託料	2,700,000	3,000,000	△ 300,000
保険料	150,000	150,000	0
委託料	1,300,000	0	1,300,000
諸謝金	1,500,000	1,500,000	0
租税公課費	1,500,000	1,500,000	0
諸会費	80,000	50,000	30,000
情報処理費	800,000	1,000,000	△ 200,000
支払負担金	0	0	0
支払手数料	150,000	120,000	30,000
雑費	50,000	50,000	0
経常費用計	119,823,000	118,257,000	1,566,000
評価損益等調整前当期経常増減額	320,000	6,890,000	△ 6,570,000
評価損益等計			0
当期経常増減額	320,000	6,890,000	△ 6,570,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	320,000	6,890,000	△ 6,570,000
一般正味財産期首残高	692,698,760	647,795,465	44,903,295
一般正味財産期末残高	693,018,760	654,685,465	38,333,295
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	693,018,760	654,685,465	38,333,295

正味財産計算予算書内訳表

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	0	0	5,000		5,000
特定資産受取利息	0	0	5,000		5,000
受取会費	0	0	55,000,000		55,000,000
受取会費	0	0	55,000,000		55,000,000
受取建設資金負担金	0	0	8,000,000		8,000,000
受取建設資金負担金	0	0	8,000,000		8,000,000
受取入金金	0	0	4,000,000		4,000,000
受取入金金	0	0	4,000,000		4,000,000
事業収益	51,206,000	30,000	1,140,000		52,376,000
受取受講料	26,000,000	0	0		26,000,000
受取会館賃貸料	0	30,000	0		30,000
受取福祉年金事務費	0	0	180,000		180,000
受取手数料	300,000	0	0		300,000
受取補助金等	7,900,000	0	50,000		7,950,000
日本看護協会受取助成金	7,900,000	0	0		7,900,000
団体受取助成金	0	0	50,000		50,000
受取受託金	17,006,000	0	910,000	0	17,916,000
日本看護協会受取業務受託金	0	0	910,000		910,000
和歌山県受取委託費	17,006,000	0	0		17,006,000
受取寄付金	0	0	700,000		700,000
寄付金収益	0	0	700,000		700,000
雑収益	0	0	62,000		62,000
受取利息	0	0	2,000		2,000
その他の雑収益	0	0	60,000		60,000
経常収益計	51,206,000	30,000	68,907,000		120,143,000
(2) 経常費用					
事業費	85,766,000	0	0		85,766,000
役員報酬	6,700,000	0	0		6,700,000
給料手当	13,290,000	0	0		13,290,000
賞与	6,590,000	0	0		6,590,000
臨時雇賃金	8,350,000	0	0		8,350,000
退職給付引当費	826,000	0	0		826,000
法定福利費	4,000,000	0	0		4,000,000
福利厚生費	150,000	0	0		150,000
報償費	150,000	0	0		150,000
会議費	500,000	0	0		500,000
広報啓発費	1,000,000	0	0		1,000,000
旅費交通費	11,000,000	0	0		11,000,000
通信運搬費	2,000,000	0	0		2,000,000
減価償却費	2,500,000	0	0		2,500,000
消耗什器備品費	1,000,000	0	0		1,000,000
消耗品費	4,500,000	0	0		4,500,000
修繕費	250,000	0	0		250,000
光熱水費	2,340,000	0	0		2,340,000
印刷製本費	4,500,000	0	0		4,500,000
図書整備費	600,000	0	0		600,000
賃借料	1,300,000	0	0		1,300,000
調査研究費	10,000	0	0		10,000
保険料	250,000	0	0		250,000
委託費	1,500,000	0	0		1,500,000
諸謝金	12,000,000	0	0		12,000,000
租税公課費	50,000	0	0		50,000

科 目	公益目的 事業	収益事業 会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
情報処理費	200,000	0	0		200,000
支払手数料	150,000	0	0		150,000
支払助成金	0	0	0		0
支払寄付金	0	0	0		0
雑支出	60,000	0	0		60,000
管理費	0	0	34,057,000		34,057,000
役員報酬	0	0	5,260,000		5,260,000
給料手当	0	0	4,670,000		4,670,000
賞与	0	0	3,050,000		3,050,000
臨時雇賃金	0	0	0		0
退職給付引当費	0	0	337,000		337,000
法定福利費	0	0	1,800,000		1,800,000
福利厚生費	0	0	150,000		150,000
渉外費	0	0	150,000		150,000
会議費	0	0	200,000		200,000
広告宣伝費	0	0	250,000		250,000
旅費交通費	0	0	1,000,000		1,000,000
通信運搬費	0	0	600,000		600,000
減価償却費	0	0	2,500,000		2,500,000
消耗什器備品費	0	0	500,000		500,000
消耗品費	0	0	1,200,000		1,200,000
修繕費	0	0	1,500,000		1,500,000
印刷製本費	0	0	1,800,000		1,800,000
光熱水料費	0	0	660,000		660,000
賃借料	0	0	200,000		200,000
会館委託料	0	0	2,700,000		2,700,000
保険料	0	0	150,000		150,000
委託料	0	0	1,300,000		1,300,000
諸謝金	0	0	1,500,000		1,500,000
租税公課	0	0	1,500,000		1,500,000
緒会費	0	0	80,000		80,000
情報処理費	0	0	800,000		800,000
支払負担金	0	0	0		0
支払手数料	0	0	150,000		150,000
雑費	0	0	50,000		50,000
経常費用計	85,766,000	0	34,057,000		119,823,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△34,560,000	30,000	34,850,000		320,000
評価損益等計					
当期経常増減額	△34,560,000	30,000	34,850,000		320,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計					0
(2) 経常外費用					
経常外費用計					
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額					
当期一般正味財産増減額	△34,560,000	30,000	34,850,000		320,000
一般正味財産期首残高	410,638,785	1,177,332	280,882,643		692,698,760
一般正味財産期末残高	376,078,785	1,207,332	315,732,643	0	693,018,760
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	376,078,785	1,207,332	315,732,643	0	693,018,760

職能委員会報告

保健師職能委員会

委員長 櫻根 桂子

【活動目標】

保健師の連携強化・資質の向上を図り、いきいきと元気に活動する。

【活動内容】

1. 職能委員会開催：8回開催
2. 職能集会
日時：平成28年7月23日（土）12：45～16：00
場所：和歌山県看護研修センター
参加者数：46名
内容
・平成27年度日本看護協会および県看護協会職能委員会活動方針について
・統括保健師研修報告 日高川町役場 尾崎 久美氏
紀美野町役場 下東 真理氏
・講演
演題：「地域保健活動で大切にしていること」
～個人や地域を見る力、PDCAサイクルの展開～
講師：公益社団法人日本看護協会 健康政策部 保健師課
健康政策専門職 橋本 結花氏
3. 三職能合同研修会
日時：平成28年9月17日（土）13：00～16：00
場所：和歌山県看護研修センター
参加者数：162名
講演：テーマ「地域包括ケアを推進するための看護職の役割」
講師：公益社団法人日本看護協会 斎藤 訓子 理事
4. 保健指導ミーティング（日本看護協会補助金事業）
日時：平成28年12月15日（土）12：45～16：30
場所：和歌山県看護研修センター
参加者数：38名
内容
・講演
・演題「生活習慣病予防の取り組みとその背景」

- 講師：滋賀県米原市健康づくり課 藤井 朋子氏
・実践力をUPする事例検討
コーディネーター：和歌山県立医科大学大学院保健看護学
研究科特任教授 山田 和子氏
・話題提供
和歌山市北保健センター 大端 聡子氏
印南町役場 原 由季子氏
5. 交流会
テーマ：「保健師のキャリア形成 これが私の歩む道」
・平成29年2月25日（土）13：30～15：30
・場所：和歌山県看護研修センター
・参加者数：32名
・演題：キャリア形成に向けた支援について
新宮保健所 尾崎 裕美氏
保健師としてのキャリアと力量形成について
東京保健医療大学和歌山看護学部（仮称）設置準備室
原 政代氏
・交流会：保健師間の情報交換 グループワーク
 6. 地域住民の健康増進
「まちの保健室」への協力
 7. 会員増加に関する対策
・保健師職能だよりを年3回発行し、協会活動を紹介する。
・職能委員会報告を行い、委員会活動、協会活動を紹介する。

【今後の課題】

- ①保健師職能だより等を利用しながら、協会活動を多くの保健師に伝え、加入率の増加を図る。
- ②保健師長会、市町村保健師連絡協議会、教育機関等の連携強化を図る。
- ③新任者を対象とした保健師教育の充実を図るため、保健指導ミーティング事業を開催する。
- ④中堅期保健師を対象とした研修の充実を図るため、今後検討していく。

助産師職能委員会

委員長 坂本 裕美子

【活動目標】

1. 助産師のキャリアパス/助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の普及と啓発
2. 助産実践能力向上のためのキャリアアップ研修会の開催
3. 地域母子保健活動の推進

【活動内容】

1. 職能委員会：10回開催
・クリニカルラダー、周産期の災害支援、地域母子保健を中心とした情報提供と意見集約
・助産師職能委員会活動の計画・準備・実施・評価、他
2. 助産師職能集会
日時：平成28年7月30日（土）13：00～16：10
場所：和歌山県看護研修センター 研修室2
参加者：37名
内容
・平成27年度 助産師職能委員会の活動報告、CLOCMiPの状況
・平成28年度 助産師職能委員会活動について
助産師研修：テーマ「社会的ハイリスク妊産婦の支援」
講師 和田 聡子氏 大阪府立母子保健総合医療センター看護部長
渥美 貴子氏（同）看護主任
3. 三職能合同研修会の開催
日時：平成28年9月17日（土）13：00～16：00

- 場所：和歌山県看護研修センター 大ホール
テーマ：「地域包括ケアシステムを実現するための看護職の役割」
講師：齋藤 訓子氏 公益社団法人日本看護協会常任理事
地域連携に関する活動報告（助産師職能）：慈幸 奈美氏
日本赤十字社和歌山医療センター
参加者：162名
4. 助産師研修会
《第1回》日時：平成28年6月25日（土）13:00～16:10
場所：和歌山県看護研修センター 研修室2
テーマ：「CTGによる胎児心拍モニタリング」
講師：城道 久氏 和歌山県立医科大学産婦人科
参加者：40名
《第2回》日時：平成29年2月25日（土）13:00～16:10
場所：和歌山県看護研修センター 研修室2
テーマ：「性暴力被害者への身体的・心理的支援」
講師：楠本 裕紀氏 性暴力救援センター・
大阪 SACHIKO 阪南中央病院産婦人科
参加者：33名
《助産師交流会》
日時：平成28年12月10日（土）13:00～16:30
場所：和歌山県看護研修センター 研修室2
テーマ：「助産外来・院内助産の開設と発展に向けて
～5施設の取組みから学ぶ～」

講師：平野 節子氏（和歌山ろうさい病院）
 片山 祐理氏（和歌山県立医科大学付属病院）
 滝口 ひとみ氏（国保日高病院）
 近藤 広美氏（紀南病院）
 奥野 友紀氏（日本赤十字社和歌山医療センター）

参加者：36名

5. 近畿地区助産師合同研修会

日時：平成28年10月1日（土）13:00～16:00
 場所：大阪府看護協会 ナーシングアート大阪 レモンホール
 テーマ：「虐待予防のための妊娠期からの他職種連携」

講演：「妊娠期からの虐待予防」
 講師：中板 育美氏 公益社団法人日本看護協会常任理事
 シンポジウム「虐待予防のために妊娠期からの他職種連携を探る」

施設助産師：緒方 あかね（京都第1赤十字病院）

臨床心理士：打本 未来（愛染橋病院）

地域助産師：三輪 寿江（大阪府助産師会）、

行政保健師：正木 典子（姫路市保健所健康課）

参加者：229名

6. 思春期教育出前事業（1回）

日時：平成28年7月11日（土）10:30～11:40

場所：和歌山市立高積中学校

内容：生命の誕生、思春期における心身の変化、性感感染症、
 赤ちゃん抱っこ・妊婦体験

参加者：中学3年生男女 183名

7. 県内助産師ネットワーク化への取組み

助産師会員の勤務する施設にアンケート調査を実施し、24施設より回答があった。

詳細は資料参照。

8. セーフマザーフード募金の協力

助産師研修会にて募金を呼びかけ、12,231円を日本看護協会経由でICMに送金

【今後の課題】

平成28年度（第2回）助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証制度による和歌山県の合格者は48名で、2年間で125名（就業助産師の約45%）のアドバンス助産師が誕生している。次回、平成30年の申請条件変更に関する情報提供を行うと共に、ラダー制度を活用した助産師の卒後教育充実に向けて各施設の取り組みを支援する必要がある。

また、県内助産師ネットワークの完成、周産期防災マニュアル作成や災害訓練など、周産期に特化した災害対策の強化に向けた取り組みが必要である。

看護師職能委員会 I

委員長 澤田 康幸

【活動目標】

1. 看護職の役割を認識し、看護実践能力強化を図るための支援を行う
2. 県看護協会を中心とした各委員会・地区支部との連携強化とネットワーク作りを行い情報交換・意見集約を行う

【活動内容】

委員会開催 10回

1. 看護師職能集会

日時：2016年9月17日（土）10:00～12:00

場所：和歌山県看護研修センター

参加者：175名

講演：認知症について

講師：和歌山県立医科大学附属病院 神経精神科 助教 山田 信一氏

2. 三職能合同研修会

日時：2016年9月17日（土）13:00～16:15

場所：和歌山県看護研修センター

参加者：162名

講演：地域包括ケアシステムにおける看護職の役割

講師：日本看護協会 常任理事 齋藤 訓子氏

3. 准看護師研修会

日時：2016年10月15日（土）13:30～16:00

場所：和歌山県看護研修センター

参加者：45名

講演：安全な食事介助を行うために

講師：紀南病院 摂食嚥下認定看護師 宮田 栄里子氏

4. 看護師職能 I 研修会

日時：2016年12月3日（土）13:30～16:00

場所：和歌山県看護研修センター

参加者：85名

講演：看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）

講師：日本看護協会 看護研修学校 教育研究部長 渋谷 美香氏

5. 男性看護師交流会

日時：2017年2月4日（土）13:00～16:00

場所：和歌山県看護研修センター

参加者：36名

講演「いきいきと働き続けられるために」
 ～男性看護師を楽しく生きる道～

講師：和歌山県立医科大学附属病院 北田 雅敬氏

紀南病院 高垣 幸三氏

済生会有田病院 湯田 周志氏

【今後の課題】

1. 看護職が健康で安全に働き続けられるための取り組み。
2. 看護師のクリニカルラダー「日本看護協会版」の導入に向けての、情報提供及び支援。

看護師職能委員会 II

委員長 中野 美枝

【活動目標】

1. 介護・福祉施設・在宅領域の看護職の質の向上
2. 地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークづくり
3. 三職能の連携強化
4. 看護協会活動のPRを行い、施設・在宅関連の協会の増員を図り看護職職能の組織強化を図る

【活動内容】

1. 介護・福祉施設・在宅領域の看護職の質の向上
 - 1) 「穏やかな死を迎えるために」パンフレット作成

2) 地区別高齢者ケア施設の看護師交流会の企画・運営

日時：平成28年11月4日（金）13:30～16:00

テーマ：高齢者ケア施設における看護師の役割を考える

講師：古川 佳要子先生（介護老人保健施設オークピア鹿芝）

参加人数：34名（看護職29名、介護職員5名）

参加施設数：31施設

2. 地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークづくり

1) 出前研修の企画・運営

訪問看護ステーション・介護施設で働く看護職・介護職等、他職種を対象に各地区で実施。今年度は、「高齢者のフィジカルアセスメント」をテーマとした。

地区	紀北	紀中	紀南
日時	平成28年 10月23日(日)	平成29年 1月21日(土)	平成29年 2月4日(土)
参加者数	66名	27名	16名
参加施設	施設9名、 病院26名 ステーション31名	施設5名 病院5名 ステーション14名 その他2名	施設2名 病院3名 ステーション11名
講師	原田 かおる 先生	原田 かおる 先生	岩根 直美 先生

2) 市民向けの研修の企画・運営

日時：平成28年11月20日(日)

テーマ：「健やかに老いて安らかに逝く」

講師：末本 浩基 先生(中谷病院)

参加人数：58名(看護・介護職56名、一般2名)

3. 三職能の連携強化

・看護職能集会の企画・運営

日時：平成28年9月17日(土) 10:00～

テーマ：「認知症」

講師：山田 信一 先生

参加者：175名

・三職能集会の企画・運営

日時：平成28年9月17日(土) 13:00～

テーマ：「地域包括ケアシステムにおける看護師の役割」

講師：齋藤 訓子 先生

参加者：162名(143名+19名(職能委員))

【今後の課題】

今年度の施設での看取りアンケート調査の結果、介護職員への教育や看取りへの移行のタイミング、家族への支援調整等で悩んでいることがわかった。その為、施設で活用できるパンフレットを作成し、看取りの質向上を図る。出前研修や看護管理者交流会についても会員数が少ない中で、他施設とのネットワーク作りが必要であるため次年度も開催予定とする。

常任委員会報告

社会経済福祉委員会

委員長 和田 裕子

【活動目標】

1. 看護職がいきいきと働き続けられる職場作りに向けて、「WLB推進ワークショップ」の取り組みを支援する。
2. 看護職への禁煙推進活動

【活動内容】

・回数：委員会開催回数 7回

1. 今年度は、WLBを重点的に取り組み、年2回開催の「WLB推進ワークショップ」の事業運営についてWLB推進委員会をサポートした。

4月	・第1回社会経済福祉委員会開催 ・WLB推進委員会へ参加 参加施設は平成26年度から引き続き中谷病院の1施設と平成27年度からの和歌山生協病院、有田市立病院、宇都宮病院の3施設の計4施設
5月	・第2回社会経済福祉委員会開催 ・平成28年度委員会年間計画の立案 ・施設における看護師向け禁煙対策の紹介依頼文書を作成 ・第1回WLB合同会議へ参加 WLB参加施設と担当委員、WLB推進委員、支援者との打ち合わせ 支援者よりインデックス調査についての説明
6月	・第3回社会経済福祉委員会開催 ・世界禁煙フォーラム参加(5/28)報告 ・黒潮136号への掲載文を作成
7月	・第5回社会経済福祉委員会開催 ・WLBワークショップに向けての準備・役割分担 ・禁煙アドバイザー育成講習会(6/19)参加報告 ・黒潮掲載原稿を施設へ依頼(国保すさみ病院)

9月	・第5回社会経済福祉委員会開催 ・9/8第2回WLB合同会議へ参加 ・9/13、14WLB推進ワークショップ開催 ①WLBの基本的な考え方について ②看護職のWLBインデックス調査及び調査結果の見方について ③WLB実現のためのアクションプランについて 各施設に分かれ、インデックス調査結果の分析から問題、課題を明確にしアクションプランを作成。それに基づいて全体討議。 ・第136号黒潮に「世界禁煙フォーラム」掲載原稿確認
12月	・第6回社会経済福祉委員会開催 WLBフォローアップワークショップの役割分担 ・第3回WLB合同会議へ参加 フォローアップワークショップ(平成29年1月27日開催)プログラムについての打ち合わせ ・第137号黒潮掲載原稿確認 (国保すさみ病院 自施設での職員を対象とした禁煙への取り組み)
1月	・第2回WLBフォローアップワークショップ参加・協力 各施設での取り組みの報告・討議・意見交換
2月	・第7回社会経済福祉委員会開催 ・平成28年度事業活動のまとめ ・平成29年度事業活動計画(案)の作成 ・第2回WLB推進委員会へ参加

2. 看護職の禁煙推進活動

- 1) 和歌山県看護協会会報「黒潮」へ禁煙推進記事を下記の内容で掲載した。

①第136号へ「世界禁煙デーフォーラム2016in和歌山参加報告」

②第137号へ「自施設での職員を対象とした禁煙への取り組み」(国保すさみ病院 宮崎真理)

【今後の課題】

1. 看護職の職場定着に向けて、WLB推進ワークショップへの取り組みの継続
2. 看護職への禁煙推進活動の継続

教育委員会

委員長 赤松 信也

【活動目標】

看護専門職としての知識・技術を深め、看護実践能力の向上に必要な教育の企画・運営を行うことができる

【活動内容】

- ・教育委員会開催回数 11回
- ・研修の企画、立案、運営、評価を行った。
- ・研修会は29テーマ（34回）開催した。
- ・研修内容について

新人研修は、昨年度と同様に「看護技術」「感染予防」「医療安全」「倫理とコミュニケーション」「フィジカルアセスメント」の研修を実施した。研修方法は参加型が多く、実際に自らが体験することで、新人にとっては理解しやすく気づきの多いものとなり、看護実践能力の基盤となったものと考えている。

ジェネラリスト研修では、能力の維持向上を目標として、昨年の企画に基づき小児、母性、精神の専門領域の研修を実施した。とくに精神看護領域では「一般病棟で役立つ精神症状アセスメントとケア」というテーマで仁明会精神衛生研究所副所長をお迎えし、数十年の経験からせん妄やアセスメントについてお話しいただき、すぐに活用できる内容であった。

また、和歌山県下の高齢率の高さから、高齢者看護に力を入

れ、認知症患者への看護実践や看取りの研修を取り入れた。中でも「エンド・オブ・ライフケアを学ぶ」においては、終末期医療の重要性もあり、一般病棟と在宅におけるそれぞれの“看取り”のあり方の研修を実施した。

管理者研修では、メンタルヘルス対策や人的資源の活用、スタッフの育成方法等、幅広い講師を招いて新しい知見が得られるように実施した。

- ・開催場所
看護研修センター29回、ビッグU5回

【今後の課題】

今後も会員の希望する研修を反映させながら企画していく。また、各職能委員会と連携し協力していかなければならない。

研修方法においては、講義形式だけでなく、受講者参加型の研修を講師と調整しながら積極的な研修となるように企画運営していきたい。

また、今年度日本看護協会から標準的な「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」が公表された。和歌山県看護協会としても各病院、施設において導入していく支援をし、教育委員会としても今後企画にあたりたいと考える。

広報委員会

委員長 仲谷 早苗

【活動目標】

1. 和歌山県看護協会の動向、タイムリーな情報、最新の情報の提供
2. 読者参加型の紙面づくり
3. 会員サービス充実・向上のための広報活動

【活動内容】

1. 年間8回の会議を開催した。
2. 和歌山県看護協会会報「黒潮」を4回発行した。
(第135号～138号)
3. 和歌山県看護協会の動き、各職能委員、専門・認定看護師、地域連携、知って得する看護協会便りなどのコーナーを継続した。
4. 「訪問看護ステーションだより」「医療安全数珠つなぎ」「私の○○」「リレーエッセイ友達の輪」「My Hospital」などのコーナーを継続した。
5. 「黒潮」の表紙写真やイラストを読者の方から頂き、紹介した。
6. モバイル版ホームページの運用に際し、トップコンテンツ等の内容やレイアウト等を検討・提案した。

【今後の課題】

1. 読者より、「他施設の現状や勤務内容等を知りたい」という意見が多かった。今後他施設の状況がわかるような企画の検討を行っていきたい。
2. 「黒潮」がより読者参加型の紙面となるよう、意見・要望を広く読者の方に求めたい。方法として、アンケート調査は諸問題により困難であるため、紙面やホームページ、研修会、他の委員会等を活用していきたい。
3. 和歌山県看護協会の更なる充実・発展のためには、会員数の維持・獲得は大きな課題である。方法として「黒潮」やホームページで、協会の魅力や取り組みをアピールしたい。
4. ホームページ及びモバイル版運営に関して内容の検討・提案を行う。新会員情報管理体制導入への効果的な広報活動を考え、会員サービスの充実と向上を図る。
5. 紙面の内容を再検討し、読者が興味を持って内容の検討を行う。
 - ・紙面内容の一部を3回（一年間）シリーズとし限定した分野（認知症等）の知識を深めるために活用していきたい
 - ・研修に興味のある読者も多く、研修内容の詳細を記載するなどのサービスを行いたい
 - ・MY Hospital の記載内容の検討、各病院や施設の取り組んでいる最新の情報を記載依頼するなどの取り組みを行いたい

医療安全対策委員会

委員長 伊都 香

【活動目標】

1. 医療安全管理者の養成
2. 医療安全管理者養成研修修了者のスキルアップ
3. 医療安全管理者ネットワークの拡大

【活動報告】

委員会開催回数9回

1. 医療安全管理者養成研修会の開催
平成28年度は、6月から12月まで7回開催した。参加者66名。修了者は65名。
平成27年度の研修未修了者1名が今年度追加研修で修了した。研修定員50名のところ66名の参加者であった。このことか

ら医療安全への関心が高く、今後も継続して管理者養成研修が必要であると感じた。来年度も7日間の研修を開催予定。

2. 医療安全管理者養成研修修了者に対するフォローアップ研修の開催

フォローアップ研修を1回開催した。

日時：平成29年2月1日（水）

近畿大学医学部附属病院 安全管理部 教授 辰巳 陽一 先生

テーマ：「転倒転落の窓からのぞく医療安全の考え方」

参加者 87名

3. 医療安全に関する情報の発信

和歌山県看護協会会報「黒潮」の「医療安全数珠つなぎ」（平成23年開始）と、併行して県内医療安全管理者の取り組みを平成26年より「医療安全情報」HPに掲載し、年2-3回の更新、今年で8回目の情報提供をした。

【今後の課題】

- ・看護協会会報「黒潮」と協会ホームページの医療安全情報の掲載を継続し、医療安全管理者のネットワーク拡大を進めていく。
- ・医療安全管理者養成研修公開講座の一般参加者増員に向けて情報発信していく。

災害看護対策委員会

委員長 星田 龍也

【活動目標】

1. 災害支援ナースの登録推進
 - ・災害支援ナースの登録・管理
 - ・災害支援携行物品の管理と運用方法作成
 - ・災害支援ナースの育成
 - 災害看護研修Ⅰ・Ⅱの企画・実施
 - ・フォローアップ研修の企画・実施
2. 災害支援ナースマニュアルの改訂
 - ・災害支援ナースマニュアルの見直し・改訂

【活動内容】

1. 災害支援ナースの登録
 - 1) 災害支援ナース登録の推進（申請書の配布・登録・管理について）
登録方法の見直しをして、再登録・新規登録を依頼した結果、新規55名、継続103名 合計158名を登録した
継続中止等52名であった
 - 2) 更新は2年毎とする
2. 災害支援ナースマニュアルの作成
 - 1) 災害支援活動マニュアルの改訂
「和歌山県看護協会災害時支援体制実施要綱」に名称変更し、作成中

- 2) 災害支援携行物品の管理・運用方法
4セット作成、運用方法作成した
3. 委員会の開催（毎月）と災害看護研修の開催
 - 1) 災害支援活動マニュアルの改訂
「和歌山県看護協会災害時支援体制実施要綱」に名称変更し、作成中
 - 2) 災害支援携行物品の管理・運用方法
4セット作成、運用方法作成した
 - 3) 災害看護Ⅰ（衛星通信：基礎編）の受講および評価
7月実施 1・2日目 88名参加
 - 4) 災害看護Ⅱ（災害支援ナース育成研修）の受講および評価
9月実施 1日目 56名、2日目 54名参加
 - 5) フォローアップ研修の受講および評価
11月実施 34名参加
4. その他
 - 1) 災害支援ナース育成研修 企画・指導者研修への参加
12月15・16日 茨精子参加

【今後の課題】

1. 「和歌山県看護協会災害時支援体制実施要綱」継続完成
2. 災害時支援マニュアルのポケット版作成
3. 11月開催の災害フォローアップ研修への参加推進と案内文作成
4. 災害活動帰還後の意見交換会（慰労会）・メンタルフォローアップの企画・運営

看護研究学会委員会

委員長 武用 百子

【活動目標】

看護研究学会の円滑な運営に向けての準備、調整を行う

【活動内容】

委員会回数 9回 看護研究学会に日程：平成28年2月18日（土）
場所：和歌山県看護協会
参加者：312名

1. 審議決定事項

- 1) 看護研究学会のテーマの検討
長年、「輝く笑顔でよりそう看護」がテーマになっていたが、今年度はテーマの変更をおこなった。学会のテーマは「その人らしさを支えるケア ～認知症をめぐるケアのあり方～」とした。
- 2) 特別講演内容および講師選定
参加者に認知症についての学びを深めてもらうため、特別講演1、2で企画した。特別公演1は、株式会社大起エンゼルヘルプ取締役 和田行男先生に「認知症ケアから生きることへの支援」のテーマで講演していただいた。特別講演2は、姫路聖マリア病院地域連携室室長 老人看護専門看護師の得居のり先生に「身体疾患を持った認知症患者の精神症状のアセスメントと看護」のテーマで講演を依頼していたが、急病で当日欠席となった。
- 3) ランチョンセミナーの内容および講師選定
ランチョンセミナーは、日本赤十字社和歌山医療センター 認知症看護認定看護師の米田恭子先生に「認知症ケア加算の運営の実際」について講演を依頼していた。前述の得居先生が急病で当日欠席となったためランチョンセミナーを中止とし、特別講演2の枠で講演をしていただいた。

- 4) 演題募集要項、抄録原稿の検討
抄録原稿について、2段枠組みに変更した。
- 5) 査読者決定および査読判定基準の検討、査読結果の送付
発表演題数は31題（口演15題、示説16題）集まり、全て査読を通して演題発表に至った。
平成28年度は日本看護協会の基準に則り、施設名のアルファベット表示を中止した。
また、利益相反の有無についての基準を定め、全演題について発表時に利益相反の有無について明記してもらった。
査読委員については、看護専門学校の教員にも依頼することとした。
- 6) プログラムの検討および作成、使用研修室の検討
平成28年度の開催は和歌山県看護協会であったため、使用する研修室を参加者の動線を考え検討した。
当日、特に混乱は見られなかった。
- 7) 抄録集の検討および作成、印刷依頼
- 8) 運営のしおりの検討および作成
運営のしおりを、和歌山県看護協会バージョンで作成した。
- 9) 広報活動の検討（ポスター制作含む）
平成28年度は、ポスターを早めに作製し、9月に会員に郵送した。
- 10) 次年度の看護研究学会のテーマ、特別講演および講師の検討、看護研究学会の開催会場の検討
平成29年度の研究会テーマは「その人らしさを支える看護 ～病気や障害を持つ人の家族の理解～」とし、特別講演とセミナー1、2で企画することとした。
開催場所は和歌山県民文化会館とし、開催日程は平成30年2月24日（土）で決定している。

【今後の課題】

平成 28 年度は開催場所を和歌山県看護協会としたが、駐車場、会場の混乱はみられなかった。参加者のアンケートでは、学会テーマに関しては 91% が肯定的評価であった。特別講演 1 は 85% が、講演は 82% が肯定的評価であった。発表演題数は 31 題で、口演 15 題、示説 16 題としたが、示説会場が狭く発表形式をとるのが困難であった。そのため、平成 29 年度に向けては、発表者に時間を設定し、その時間内に質疑応答して頂く形式とすることとした。口演、示説発表後の会場からの質問が少ないため、座長から質問

する場面が多くみられたため、今後活発な意見交換ができるように検討する必要がある。

平成 28 年度の看護研究学会の参加者は平成 27 年度に比べ微減したが、参加者からのアンケート結果からは特別講演やランチョンセミナー（講演）に関して肯定的評価であった。

平成 28 年度は特に利益相反を定めるなど、特に研究倫理について検討した。今後も会員の研究倫理を高め、また研究が活性化していくように企画・運営を検討していく。

特別委員会報告

認定看護管理者教育運営委員会

委員長 芝 瀧 ひろみ

【活動目標】

認定看護管理者教育課程（ファーストレベル・セカンドレベル）の実施および改善のための検討をおこない、教育課程の充実と推進を図る。円滑な研修の運営をおこない、評価を行い次年度に活かす

【活動内容】

- 回数：運営委員会 4 回
認定看護管理者教育課程開講式および閉講式運営 4 回
- ファーストレベル教育課程受講者の募集、受講者決定と研修会運営、修了者の確定
59 名の応募者のうち、選考基準に則り募集定員 50 人の 1 割増である 55 名の受講者を決定した。6 月 1 日から 9 月 12 日まで 7 教科 150 時間を実施した。閉講式では個々に研修での学びと今後の課題について発表した。55 名が修了した。
- セカンドレベル教育課程受講者の募集、受講者決定と研修会運営、修了者の確定
23 名の応募者のうち、選考基準に則り 23 名の受講者を決定

した。9 月 30 日から 1 月 13 日まで 5 教科 180 時間を実施した。研修最終日に教科目で学習した内容を統合・活用し、自施設で取り組む看護管理実践計画を発表した。23 名が修了した。

- 平成 28 年度セカンドレベル教育課程の講師選定と公開講座の決定
5 つの単元の講師を決定し、3 つの公開講座を決定した
- 平成 29 年度教育課程の研修要項の見直しと講師の選定についてファーストレベル教育課程の開催日程と募集期間の決定、講師の選定をおこなった
セカンドレベル教育課程の開催時期の検討と講師の選定をおこなった

【今後の課題】

- ファーストレベル受講予定者に向けて準備となる研修受講の奨励
- ファーストレベル教育課程修了者のフォローアップ
- セカンドレベル教育課程修了の 1 年後看護管理実践末報告者に対する看護管理実践発表の機会提供

「まちの保健室」運営委員会

委員長 佐 藤 美 江

【活動目標】

- 「まちの保健室」開催の定着化を図り、地域住民の健康に対する認識と看護協会活動の理解を高める。
- 地域住民の生活習慣見直しのきっかけづくりや改善に向けての支援ができる。
- 高校、短大や看護の日のイベント等での開催を通じて、看護への関心を高め人材育成につなげる。

【活動内容】

- 活動回数：13 回（「まちの保健室」健康チェック事業開催 7 回 委員会会議開催 6 回）
- 開催場所：セントラルシティ和歌山 4 回、向陽高校 1 回、信愛女子短期大学 1 回、刑務所 1 回
- まとめ
今年度の「まちの保健室」への参加者総数は 528 名、平均 75 名であり昨年度より減少した。これは開催施設内での場所変更が 2 回あったためと考えられる。リピート率は、15.5% であり、開催施設を一定化していることや次回開催日を掲示したことが要因とおもわれる。今後は施設の協力を得て、複数回のアナウンスを行うことにより参加者数の増加を図る必要がある。
参加者の年齢は、60 歳以上が多く、各計測項目では、前年度と同様に骨密度測定が好評であり、特に女性に関心が高かった。健康相談では、今年度も各職能や栄養士の方々の協力を得て、総合的かつ専門的な説明を行うことができた。また、内容は血

圧、骨密度についての相談が多数を占め、資料を用いての効果的な指導がなされ好評であった。その他の意見として、血管年齢測定や血糖測定の希望もあり、今後の検討事項とする。

隔月での運営委員会では、協力員からの意見や評価・反省の他、アンケートで寄せられた意見について検討した。また、開催運営には毎回 12 名程度の人員が必要で、委員の他に各施設やセカンドキャリアから、のべ 53 名の協力委員に支援をいただいた。

今年度も信愛女子短期大学・向陽高校の 2 校で健康チェック事業を開催し、両校で 251 名の参加者があった。男子生徒も白衣体験をしたり、聴診器で実際の心音や脈拍を測定する体験ができ好評であった。また、看護職をはじめ医療職志望の生徒が多く、今後の参考になるという意見もあり、継続していきたい。

【今後の課題】

- アンケートでは看護協会を知らないと答えた方は多かった。次年度も引き続き看護協会活動の広報を行っていく必要がある。リビング和歌山への開催についての掲載やポケットティッシュの配布、開催中施設の入り口付近への掲示やアナウンスも継続していき、(公社)看護協会の理解と認識を高めていく。
- 次年度も高校や短大での開催を計画し看護への関心を高めることで人材育成につなげていく。
- 健康チェック事業を充実していけるような協力員体制を考慮したい。

ナースセンター事業推進委員会

委員長 上田陽子

【活動目標】

看護職員の就業促進と確保及び離職防止対策のため、県行政やハローワーク等との連携を密にし、再就業者の増加を図ると共に、看護職員の資質の向上を図る。

【活動内容】

1. 委員会開催回数 5回
2. ナースセンター事業の活性化及び就業促進
ハローワーク（橋本、和歌山、海南、湯浅、御坊、田辺）にて「ナースのお仕事相談」を開催
開催総数は：136回、来所者：101人（うち6人社会人）
就業決定（常勤・非常勤・臨時）：38人 就業率42%

3. 再就業促進研修
開催日 平成28年11月18日
参加者数 25名
病院及び施設参加数 14施設
4. 「看護の心」普及啓発事業に参加
5. その他関連事業に協力参加
1日まちの保健室等 8回

【今後の課題】

1. ナースセンター事業の普及及び啓発
2. 相談窓口の充実と拡大
3. 潜在看護職員の届出制度の普及及び啓発

認定看護師フォローアップ委員会

委員長 芝田里花

【活動目標】

1. 和歌山県内に在籍する認定看護師が、認定看護師として自律して日々の活動が実践できるよう支援する。

【活動内容】

1. 委員会開催：1回開催
2. 認定看護師フォローアップ研修会
日時：平成29年2月25日（土）13：30～16：30
場所：和歌山県看護研修センター 研修室I
参加者：19名（平成28年に救急看護認定看護師資格を取得した14人を含む）

- 内容
1. 平成27年度和歌山県看護協会の救急看護認定看護師教育課程などを修了し、救急看護認定看護師の資格を取得した14名の実践報告
 2. 全体討議、既取得者から職場で実践活動する事への助言を受ける

【今後の課題】

- 1) 認定看護師が役割を認識し、和歌山県の看護の質の向上に寄与することができる。
- 2) 和歌山県内の認定看護師が分野を超えてネットワークづくりができる。
- 3) 新たに資格を取得した認定看護師の支援をする。

その他委員会報告

WLB推進委員会

推進者 山本喜久子

【活動目標】

看護職のワーク・ライフ・バランス（WLB）の実現に取り組み、看護職がいきいきと働き続けられる環境づくりを支援する。

【活動内容】

1. 推進委員会2回、参加施設推進委員合同会3回、WLB推進ワークショップ2日間、フォローアップ・ワークショップ1日間
2. 参加施設 4施設（中谷病院、和歌山生協病院、宇都宮病院、有田市立病院）
3. 「WLB推進ワークショップ」において、参加施設の取り組みに対する助言・支援、ワークショップの企画運営

4. ワークショップ開催（公開講座）
開催日：平成28年9月13日（火）、9月14日（水）
場所：看護研修センター
5. フォローアップ・ワークショップ開催（公開講座）
開催日：平成29年1月27日（金）
場所：看護研修センター

【今後の課題】

参加施設の拡大を図る。

認定看護管理者会

委員長 黒田美也子

【活動目標】

1. 県内において質の高い組織的看護サービスの提供を目指すために看護管理者を支援する
2. 県内の認定看護管理者間の交流を深め、ネットワークの構築を図る。

【活動内容】

1. 認定看護管理者会議：6回
2. 和歌山認定看護管理者会による出前講義：14回
 - 1) 実施施設：10施設
3回実施施設：1施設、2回実施施設：2施設、
2施設合同実施：2回
 - 2) 対象者：役職 主に副看護部長、看護部長、副看護部長等
人数 10人～30人
 - 3) テーマ

テーマ	組織論	労務管理	看護倫理	診療報酬制度	安全管理	人材育成	看護の質
施設数	3	2	3	1	1	3	1

- 4) 評価：
 - ①研修の具体的な内容を示すこと、実施施設との事前の打ち合わせ等により施設の看護管理者のニーズに沿った研修内容になったと考える。
 - ②施設合同研修等の希望に沿ったことで参加施設が昨年比し3倍弱増加した。
3. 認定看護管理者会交流会の開催：平成29年1月14日（土）

【今後の課題】

1. 出前講義
 - 1) 研修前・後に看護管理者の方々との情報交換をしながら、参加施設、特に小規模病院の参加を増やす。
 - 2) 地域における看護管理者間の交流を深めるため、複数施設での合同開催を推進する。
2. 認定看護管理者交流会
看護管理に関する事項や、看護管理のグッドプラクティス発表の場等として検討する。

地区支部報告

伊都地区支部

支部長 西山 登志子

活動目標

1. 地域イベントに積極的に地区支部として参加・協力していく。そこから看護協会の知名度を上げ会員の増員を目指す。

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
平成28年度事業 看護週間行事 「1日まちの保健室」	・血圧測定 ・骨密度測定 ・体脂肪測定 ・健康相談 ・栄養指導 ・乳がん自己検診指導 ・血糖測定、糖尿病予防指導 ・手洗いチェッカー	地域住民	5月14日（土）	役員・協力員 12名 参加者 150名	・健康相談を通し健診の必要性を啓発する事ができた ・「骨密度測定」が好評 ・測定結果より具体的な指導を受けて頂く事、認定看護師の活動も知って頂くよい機会となった ・手洗いチェッカーの活用で感染予防対策の基本である手洗い方法について指導することができた ・看護協会の活動を知って頂くよい機会となった
平成28年度事業 伊都地区支部集会	役員交代	会員 看護職	7月2日（土）		
看護研修会	テーマ：橋本市医療圏域における地域医療構想について 講師：伊都振興局健康福祉部総務健康安全課 健康安全グループ主査 仲 浩臣	会員 看護職	7月2日（土）		患者の状態に応じた適切な医療を地域に於いて効果的かつ効率的に提供する体制を整備する必要性を感じた。また、患者をできるだけ早く社会復帰させ地域で継続して生活を送れるよう支援する必要がある。
橋本市教育委員会 社会教育課主催 「平成28年度 こども冒険村」事業への ボランティア参加	橋本市内小学5年生を対象とした宿泊体験事業での子供のケア	市内小学5年生 高～大学生等 スタッフ 約30名	8月2日（火） 8月5日（金）	協力員 8名 小学5年生 70名 スタッフ 10名	救急認定看護師による熱中症対策等事前説明会もあり、活動中は大きな事故やけがの発生もなく無事に終了した。
第1回施設代表者会議	和歌山県看護協会における地域医療構想について	支部施設 代表者	11月26日（土）		
平成28年度事業 「すこやか橋まなびの日」 （県立橋本体育館）	救護活動 「まちの保健室」 ・血圧測定 ・骨密度測定 ・体脂肪測定 ・健康相談 ・認知度テスト ・手洗いチェッカー	地域住民	11月27日（日）	救護 2名 役員・協力員 8名 参加者数 3,000名 保健室 404名	協会の知名度アップのため“まちの保健室”としても参加し、活動を知って頂くよい機会となった。また、具体的な健康指導や感染予防対策も指導できた。救護班としての活動もなく無事に終了した。
かつらぎ町ボランティア 連絡協議会主催 平成28年度 「第11回かつらぎ町 ボランティアまつり」 （かつらぎ町総合文化会館）	「まちの保健室」 ・血圧測定 ・骨密度測定 ・体脂肪測定 ・健康相談 ・認知度テスト ・手洗いチェッカー	かつらぎ町 地域住民	2月11日（土）	役員 6名 参加者数 260名	・ボランティア団体との交流を深める事を主旨とするイベントであり、各ボランティア団体、協力校のボランティア活動の展示、体験コーナーもあり町民の方々と共にボランティア活動の実情を知ることができた。 ・看護協会の知名度アップ、活動を知って頂くことができた。
上田和夫先生 瑞宝双章記念祝賀会 新年 （伊都医師会主催）	花束贈呈		2月18日（土）	役員1名	
橋本市教育委員会社会教育課 （橋本市子ども会連絡会）主催 平成28年度 「ジュニア・リーダー研修会」 事業へのボランティア参加 （旧橋本市立西部中学校）	橋本市内の小学5年生小学6年生を対象とした宿泊体験事業での子供のケア	橋本市立 小学5・6年生 高～大学生等 スタッフ	3月24日（金） 14:00 3月27日（月） 11:30	協力員6名 参加者 70名予定 スタッフ 30名予定	事故やけがのないように無事に終了することを願う。
第2回伊都地区支部 施設役員代表者会議		支部施設 代表者	3月6日（月）	参加者 12名	
役員会	理事会報告・支部運営に関する検討など	支部役員	8回	5名	
今後の課題	1. 他職種との連携を図り、地区支部活動を通して地域住民への健康保持増進に努めていく。				

那賀地区支部

支部長 大久保 まさ子

活動目標

1. 地区支部活動を通し、会員や地区住民との交流及び情報共有ができる

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事 「1日まちの保健室」	血圧・体脂肪・骨密度測定等 健康相談・指導	地域住民	平成28年 5月14日	95名	「看護の日」の啓蒙と住民の健康意識の向上につながった
平成28年度 地区支部集会	平成28年度事業報告・平成29年	会員	平成28年 7月2日	58名	
第1回地区支部研修	テーマ 「医療 福祉現場での音楽療法の可能性」	会員 非会員	平成28年 7月2日	81名	音楽療法の素晴らしさ奥深さを体感でき、リフレッシュできた
老人月間行事 第2回地区支部研修	テーマ 「認知症を持つ人は看護職の正しい理解を必要としています」	会員 非会員	平成28年 10月1日	74名	現状の課題の取り組みに参考になった 再度研修をしてほしいと関心が高かった
第2回施設代表者会議	日本看護協会・和歌山県内の動向 会員登録等	施設代表者	平成29年 3月16日	17名	
役員会	理事会報告 事業等に関する検討	支部役員	6回	3名	
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 協会活動を通し看護協会会員数の増加に努める 2 病院・施設・在宅等の看護職間の連携強化と多職種間との情報共有に努める 				

和歌山地区支部

支部長 松尾 文美

活動目標

1. 地区支部活動を通して、地域住民の看護協会への理解を深める
2. 地区支部会員に対して、必要な情報を提供する
3. 地区支部会員に対して、看護実践の現場に生かせる研修会を実施する

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事 「まちの保健室」	出前健康チェック ・骨密度測定 ・血流測定 ・物忘れチェック ・健康・看護・育児相談等	地域住民	5月21日(土) セントラル・シ ティ・オークワ	一般参加 64人	同じ大手スーパーで開催するのは3回目 であった。毎回楽しみに来て下さる方も増 えてきた。人数は昨年より5人少なかった。 今後も三職能が協力して開催したい。
平成28年度 地区支部集会	「地区支部集会」 ・平成28年度事業報告 ・平成29年度事業計画	会員	6月25日(土) 日赤和歌山 医療センター	118人	昨年度活動報告、今年度事業計画と共に 新役員と旧役員の紹介を行い会員の皆様 に役員を知ってもらう機会とした。
第1回研修会	テーマ：認知症をもつ人は看護職の正しい理 解を必要としています 講師：認知症看護認定看護師 米田 恭子氏	会員 非会員	6月25日(土) 日赤和歌山 医療センター	118人	会員の興味を引くテーマであり、参加者が 多かった。参加者の施設は訪問看護、リ ハビリ、病院、学校、行政と様々な施設 から参加を得た。
老年看護月間行事 「まちの保健室」	出前健康チェック ・骨密度測定 ・血流測定 ・物忘れチェック ・健康・看護・育児相談等	地域住民	9月24日(土) セントラル・シ ティ・オークワ	一般参加 85人	地域に定着してきたため5月と同開催場 所とした。参加者の年齢層は高くなってい る。測定後の相談が増えているため、話 を聞ける場づくりが必要。
第2回研修会	テーマ：在宅復帰を目指して看護をつなぐ ～多職種と連携して～ 講師：①ケアマネージャー 小長谷 恭史氏 ②MSW 古川 智子氏 ③がん専門看護師 葉原 宏貴氏 ワールドカフェ方式	会員 非会員	11月12日(土) 誠祐記念病院	53人	他職種を迎え講義とワールドカフェ方式の グループワークを行った。MSW、理学療 法士、ケアマネ7名の参加があった。他職 種の講義やグループワークは好評であった。 和歌山地区の看護がつながるように他職種 とも顔と顔をつなぐこの方式を続けたい。
地区支部施設代表者会		施設代表者	平成29年 2月28日(火)		
役員会	8回				
今後の課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. まちの保健室を地域の方々の相談や話を聴く場を多くする。 2. 地区支部会員のニーズに応じた研修会を開催し、地域の保健・医療の連携につなげられるように活動をしていく。 3. 会員数の増加を目指す。 				

海南・海草地区支部

支部長 清水 多津子

活動目標

魅力的な研修会を企画し、会員・非会員に参加を呼びかけ、地域の看護の質向上を目指すとともに、会員数の増加を図る

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護の日事業	1日まちの保健室 身長・体重・血圧測定・体脂肪・骨密度測定・健康相談 看護の日アピール	地域住民	5月14日（土） 14:00～16:00	地域住民 112名 役員・協力員 13名	骨密度測定器1台でも待ち時間が少なく来年も実施してほしいとの声がかかれた。健康相談も多かった
第1回地区支部研修会	テーマ 「認知症と認知症患者への対応」 講師 和歌山県立医科大学付属病院紀北分院 認知症認定看護師 岸田 悦子 先生	会 員 非 会 員	7月2日（土） 13:00～15:00	会員 77名 非会員 8名 役員 7名	・事例を用いた内容でわかりやすく勉強になった
27年度地区支部集会	平成26年度活動報告 平成27年度事業計画	会 員	7月2日（土） 15:00～15:30	会員 77名 役員 7名	
老人看護月間行事	海南市民健康まつり 脳トレーニング体験 豆つかみ かなひろい	地域住民	10月16日（日） 10:00～15:00	地域住民 405名 役員・協力員 11名	・参加者数が昨年より100名近く増加 参加者のニーズが高まっている
第1回施設代表者会（研修）	地域医療構想について 新会員情報管理について	施設代表者	11月26日（土） 13:00～16:00		
第2回地区支部研修会（看護職連携モデル事業）	テーマ 「認知症の予防と認知症患者への対応」 講師 橋本市民病院 大饗 義仁 先生 シンポジウム 地域で認知症の方を支えるための看護職の連携	会 員 非 会 員	H28年 11月19日（土） 13:30～17:00	会員 105名 非会員 7名 役員 6名	・認知症の研修は多いが事例を用いてくれて、とてもわかりやすかった。 ・シンポジウムでは会場とのディスカッションがおもしろかった
第2回施設代表者会（地区別）	日本看護協会の動き 平成28年度事業経過報告 平成29年度事業計画 平成29年度会費納入	会 員	H29年 3月23日（木） 13:00～15:30		
地区支部役員会	県看護協会理事会報告 地区支部事業について	地区支部 役 員	3回		
	モデル事業実行委員会		4回	協会担当 +役員 7名	
今後の課題	1. 研修を通して地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を明確化していく 2. 地域住民の協会に対する認知を広めるとともに会員数増加を目指し看護協会活動をアピールする				

有田地区支部

支部長 西原 均

活動目標

1. 看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への認知、理解を深める。
2. 広報活動等により新会員の増加に努める。

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護の日事業 「1日まちの保健室」	血圧測定 体重測定 体脂肪測定 健康相談等	地域住民	平成28年 5月14日（土） 9:30～12:00	地域住民 50名	保健所からの依頼で「がん検診啓発パンフレット」を100部配布した。検診受診率の向上につながる呼びかけを行いながら、配布できたことはよかった。
平成28年度地区支部集会	平成27年度事業報告 平成28年度事業計画	会 員 非 会 員	平成28年 7月2日（土） 13:30～13:50	73名	
第1回研修会	結核と感染予防対策 ～あなたの結核対応は大丈夫？～ 有田市立病院 感染管理認定看護師 吉田 俊晴 先生	会 員 非 会 員	平成28年 7月2日（土） 14:00～15:30	73名	和歌山県は、結核罹患率がワースト3位であることから、結核とその対応についてわかりやすく講義をしていただき、日頃からの感染予防対策の重要性を再認識した。
老人看護月間行事	血圧測定 骨密度測定 健康相談	地域住民	平成28年 11月6日（日） 8:30～14:00	地域住民 120名	広川町健康祭りに参加した。特に骨密度測定は好評で、看護協会のブースは切れ間のない対応であった。
第2回研修会	研究発表会	会 員 非 会 員	平成29年 2月25日（土） 13:00～15:00	83名	地域の共通する課題の発表もあり、会員・非会員を含めた良い学習機会となった。
施設代表者会	会長・常任理事からの報告 各施設代表者からの質問・要望	施設代表者	平成29年 3月16日（木） 14:00～15:30	11名	
役員会	理事会報告 事業等に関する検討	支 部 役 員	4回/年 (7月・9月 12月・2月)	8名	
今後の課題	1. 地域での多職種との連携を強化し、看護を通して地域の医療・保健・福祉の向上 2. 看護の質向上を共にめざすことのできる会員増加				

日高地区支部

支部長 空山直子

活動目標

1. 地域住民の健康をサポートし、地域と密着した活動を行う。
2. 支部活動を通じて会員相互の連携を深め、地域における看護の質向上を目指す。

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護週間行事 「1日まちの保健室」	身長・体重・体脂肪・血圧・骨密度測定 健康相談	地域住民	平成28年 5月14日（土）	91名	毎年参加される住民の方や健康相談で受診を勧められ、病院を受診してよかったです感謝の声も聞かれた。
地区支部報告会	平成27年度 活動報告 平成28年度 事業計画	会員	平成28年 9月24日（土）	50名	
第1回研修会	テーマ「認知症看護」 講師 国立病院機構和歌山病院 認知症看護認定看護師 堅田 弥生氏	会員 非会員	平成28年 9月24日（土）	61名	認知症に関する理解が深まった。講義の中に事例や認知症テストなどが取り入れられており、具体的な内容で興味深く聞けた。
老人看護月間行事	日高川町ふれあいまつりに参加 血圧・血管年齢・骨密度測定 ロコモ度テスト	地域住民	平成28年 11月13日（日）	90名	初めての参加であったが、住民の健康に対する関心度が非常に高く、看護のPRにも繋がった。
第2回研修会	テーマ 「日高圏域の医療・介護における現状と今後の取り組み・課題」 講師 日高振興局保健福祉課 課長 西岡 倫代氏	会員 非会員	平成29年 2月25日（土）	60名	地域包括ケアシステムおよび日高圏域の現状と今後の方向性・取り組みについてデータを基に理解でき、分かりやすかった。
施設代表者会議		施設代表者 及び役員	平成29年 2月27日（月）	11名	
役員会	理事会報告 支部運営に関する検討	役員	6回	8名	
今後の課題	1. 魅力ある研修会を企画し、看護協会会員数の増加に努める。また、協会活動を通して地域住民の健康増進に貢献する。				

田辺地区支部

支部長 山根八栄子

活動目標

1. 会員相互の連携をはかり、地域における看護の質の向上を目指す。
2. 看護協会の活動を通して、地域住民に看護職への理解を深める。

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他（参加者の反響・主催者の感想）
看護の日行事	看護の日のPRと共に血圧・体脂肪測定・健康相談に応じる。	地域住民	平成28年 5月14日（土） 9時～12時 JA紀南 ファーマーズマーケット 紀采柑	95名	・和歌山県の看護協会の存在を紹介することができた。 ・個々の健康相談にじっくり対応することができた。 ・「来て良かった」と言ってもらえ、実施することの意義を感じることができた。
平成28年度 地区支部報告会	平成28年度事業報告 平成29年度事業計画 新役員紹介	会員	平成28年 7月2日（土） 13:00～13:20		
第1回地区支部研修会	テーマ 「いまさら聞けないBLS」	会員 非会員	南和歌山医療センター 救急認定看護師 羽竹隆幸・吉野公一 協力員（6名） 紀南病院 2名 白浜はまゆう病院 2名 南和歌山医療センター 2名	48名	CPRを早期に実践する必要性や、一時救命処置、心肺蘇生法の目的・方法等について講義の後、BLS人形を使用して演習を行い、大変分かりやすく、楽しく取り組めた。
第2回地区支部研修会	テーマ 「当たり前の中にあつた大切なもの」 講師：いのちの講演家 岩崎 順子 先生	会員 非会員	平成28年 11月5日（土）	83名	命の大切さを改めて感じ、これからの看護・介護に活かせる貴重なお話で、大変良かったとの感想が多くあつた。
老人看護月間	地域の住民を対象に、血圧・体脂肪測定・健康相談に応じる。	地域住民	平成28年 12月3日（土） 9時～12時 JA紀南 ファーマーズマーケット 紀采柑	60名	健康相談や傾聴など、じっくりと関わることができた。 参加者から毎月でも行って欲しいとの声が聞かれた。
第3回地区支部研修会	田辺地区支部研究発表会 演題（7題） 講評：井上 潤氏 急性・重症患者看護専門看護師	会員 非会員	平成28年 2月25日（土） 13:30～15:30	61名	7施設から7題の発表があつた。近隣施設がどのような活動をしているか知ることができ、有意義な発表会だった。
その他役員会	平成28年5月14日 平成28年7月2日 平成28年11月5日 平成28年12月3日 平成28年2月25日		各行事の打ち合わせ 理事会報告等	7名 7名 8名 9名 7名	*メール、電話等による会議を行い、事業に支障を来さないようにした。
今後の課題	1. 老人看護月間は、地域の福祉まつり等と協賛して行っていたが、祭りがメインになり、「看護協会のアピールが出来ていないのでは」との意見があり、今年度は看護協会独自で行なった。効果的であったので、次年度からも独自で実施する計画の時期は年末の繁忙期や気温の低い時期は避けるようにする。				

活動目標

1. 会員相互の連携を深め、情報交換を密にし、看護の質の向上に繋げる

事業名	事業内容	対象者	開催日	参加者数	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	血圧測定 体脂肪測定 健康相談等	地域住民	5月14日	178名 協力員 10名	幅広い年齢層の方が立ち寄ってくださった。測定結果を元にアドバイス等を行い、好評であった。
第1回研修会	講演 「認知症患者の理解と看護について」 講師 日本赤十字社和歌山医療センター 認知症看護認定看護師 米田 恭子 先生	会 員	7月9日	55名	急性期や一般病院における課題の一つである、認知症患者の理解というテーマであり、参加者も多かった。有意義な研修であった。
老人看護月間行事	血圧測定・体脂肪測定 骨密度測定・健康相談等	地域住民	11月6日	132名 協力員 12名	「太地浦くじら祭り」の会場で、血圧測定・体脂肪測定・骨密度測定を行った。住民の健康に対する関心の大きさを感じた。
第2回研修会	講演 「最強のコミュニケーション 「なんでやねん力!!」」 講師 WM commons Wマコト様	会 員	2月12日	49名	参加者からは、「リフレッシュできた」「笑いながら学べて、よかった」などの感想が寄せられた。
地区支部施設会 員代表者会議	日本看護協会の動向 和歌山県看護協会事業について 等 報告・説明	施設会員 代表者	3月9日	12名	
地区支部役員会	理事会報告 各事業の打ち合わせ・振り返り	支部役員	6月7日 11月1日 11月15日 2月7日 3月7日	6名	
今後の課題	1. 会員数の増加。研修の充実。地区支部活動を通じて、各施設の連携を深め、地域の看護の質向上に努める。				

平成29年度 和歌山県看護協会役員・推薦委員候補者一覧

役職名	氏名	所属	備考
副会長	東 直子	白浜はまゆう病院	推薦委員会推薦
専務理事	小 泉 美穂	看護協会	推薦委員会推薦
理事(書記長)	山 本 美代	自宅	推薦委員会推薦
理事(保健師職能委員長)	小 川 政 予	伊都振興局健康福祉課	推薦委員会推薦
理事(助産師職能委員長)	慈 幸 奈 美	日本赤十字社和歌山医療センター	推薦委員会推薦
理事(看護師職能委員長Ⅰ)	稲 垣 伊津穂	名手病院	推薦委員会推薦
理事(看護師職能委員長Ⅱ)	東 るみ子	社会医療法人 黎明会 和佐の里	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 和歌山地区	廣 瀬 朱 実	済生会和歌山病院	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 海南・海草地区	中 野 美 枝	海南医療センター	推薦委員会推薦
地区理事(支部長兼任) 新宮・串本地区	貴 志 福 子	県立なぎ看護学校	推薦委員会推薦
推薦委員	坂 本 辰 美	県精神保健福祉センター	推薦委員会推薦
推薦委員	西 村 尚 美	新宮保健所串本支所	推薦委員会推薦
推薦委員	杭ノ瀬 結子	和歌山労災病院	推薦委員会推薦
推薦委員	神 戸 祥 子	公立那賀病院	推薦委員会推薦
推薦委員	藤 若 由紀子	白浜はまゆう病院	推薦委員会推薦
推薦委員	岡 崎 一 喜	恵友病院	推薦委員会推薦
推薦委員	佐 藤 房 子	特別養護老人ホームカルフル・ ド・ルポ印南	推薦委員会推薦
推薦委員	玉 置 雅 祥	特別養護老人ホーム 栄寿苑	推薦委員会推薦

平成 30 年度 代議員推薦者名簿

	氏 名	職種・地区名	施 設 名
1	小 川 政 予	保健師	那賀振興局 健康福祉部
2	慈 幸 奈 美	助産師	日本赤十字社和歌山医療センター
3	狩 谷 勇 人	准看護師	医療法人裕紫会 中谷病院
4	麴 谷 博 子	伊都地区（看護師）	県立医科大学附属病院紀北分院
5	廣 瀬 朱 実	和歌山地区（看護師）	和歌山済生会病院
6	貴 志 福 子	新宮・串本地区（看護師）	和歌山県立なぎ看護学校

平成 30 年度 予備代議員推薦者名簿

	氏 名	職種・地区名	施 設 名
1	櫻 根 桂 子	保健師	自宅
2	坂 本 裕美子	助産師	紀南病院
3	玉 置 佳 代	准看護師	介護老人保健施設 和佐の里
4	池 田 亜矢子	伊都地区（看護師）	紀和病院
5	岡 本 真由美	和歌山地区（看護師）	県立医科大学附属病院
6	佃 瑞 穂	新宮・串本地区（看護師）	くしもと町立病院

東洋羽毛の 無料!! コーヒーサービス



東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか？

どんな所でも無料で出張サービスさせていただきます



0120-88-2104

〔片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を置かせて頂いております。ご購入にも応じます。〕

東洋羽毛関西販売株式会社

お気軽に御利用ください。